

# 19.不整合 の解消方法

工事で現場内利用を行った場合、システム上で2か所入力する必要があります。  
入力が片方しかない場合、不整合メッセージが発生します。

現場内利用とは現場内で発生した資材をそのまま再利用することです  
例えば、土を掘削した後に同じ現場に埋め戻した場合等が該当します

## チェックリストの発生個所が「様式1」の場合

建設資材利用に現場内利用の入力があり、  
建設副産物搬出には現場内利用の入力がない状態です。  
**建設副産物搬出に情報の入力が必要です。**

チェックリスト		作成日：2022/05/19
副産物センター メンテナンス1		
【検索条件】 調査区分：実施 工事場所：指定なし 発注機関：指定なし		
工事ID：11578266 調査区分：実施 工事名称：〇〇町〇〇号舗装修繕工事		1/1
発注担当者：建設太郎		工事種類：T 修繕・模様替え（建築）
請負金額：830万円		工期：2020年6月16日～2024年12月15日
発生箇所	入力値	内容確認（※は必須エラー） コメント
様式1・【砕石・アス混】 再生資材利用量	10.000	19.不整合 対応する現場内利用が無いか、供給元が「現場内」となっていません。
様式1・【土砂】 再生資材利用量	10.000	19.不整合 対応する現場内利用が無いか、供給元が「現場内」となっていません。

## 1 現場内利用を行っていない場合の解消方法

建設資材利用のうち、**アスファルト・コンクリート**、**砕石**、**土砂**のうち  
いずれかを確認すると供給元種類を「現場内利用」としたデータが入力されています。  
データそのものが不要である場合は**削除** ボタンをクリックします。  
削除した後にチェックリストでメッセージが消えていることを確認してください。  
供給元種類を変更する場合は**入力** ボタンをクリックします。

建設リサイクル関連様式の登録

建設資材利用実施一覧

建設リサイクル関連様式の登録

事業所情報 工事概要 建設資材利用 建設副産物搬出 各種書類の印刷 提出用ファイル作成

工事・施設情報

コンクリート コンクリート及び集 木材 アスファルト・コンクリート 土砂 砕石 強化ビニル管・継手 石膏ボード その他

アスファルト・コンクリート

実施

(1件中1～1件目を表示)

建設資材（新材を含む全体の利用状況）		左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率	変更	コピー	削除	
小分類	利用用途	利用量(A) (トン)	再生資材の供給元施設、工事等の名称 供給元の住所 (市区町村名)	供給元種類 (地所)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B) (トン)	(B)/(A)*100			
間接度アスファルトコンクリート		12.000	東京都品川区	現場内利用	再生間接度アスファルトコンクリート	12.000	100.0	入力	コピー	削除
合計		12.000				12.000	100.0			

建設資材を**追加**します

**入力** ボタンをクリックすると以下の画面が開きます。

黄色枠内は、工事で利用する資材をどこから搬入したか、供給元の情報を入力します。

**供給元種類**は現場内利用以外の該当するものを選択し、更新をクリックします。

**アスファルト・コンクリート**  
実施

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 B/(A)*100 (%)
小分類	利用用途	利用量(A) (トン)	再生資材の供給元施設 工事等の名称 供給元の住所(市区町村名)	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B) (トン)	
開粒度アスファルトコンクリート	その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)	10.000 (半角数字)	〇〇町〇〇号舗装修繕工事 (例:〇〇工事、〇〇施設、〇〇会社等)	現場内利用	再生材の利用の指示なし	10.000 (半角数字)	100.0
(例:RA-13mm)			東京都港区	赤坂7丁目 (例:赤坂7丁目)	再生開粒度アスファルトコンクリート		

更新 戻る

---

**アスファルト・コンクリート**  
実施

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 B/(A)*100 (%)
小分類	利用用途	利用量(A) (トン)	再生資材の供給元施設 工事等の名称 供給元の住所(市区町村名)	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B) (トン)	
開粒度アスファルトコンクリート	その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)	10.000 (半角数字)	〇〇リサイクルセンター (例:〇〇工事、〇〇施設、〇〇会社等)	再生資源施設	再生材の利用の指示なし	10.000 (半角数字)	100.0
(例:RA-13mm)			東京都港区	赤坂5丁目 (例:赤坂7丁目)	再生開粒度アスファルトコンクリート		

更新 戻る

もう一度チェックリストを確認し、不整合が表示されないことを確認してください

## 2 現場内利用を行った場合の解消方法

建設資材利用のうち、**アスファルト・コンクリート**、

**砕石**、

**土砂**

いずれかを確認すると搬出先種類を「現場内利用」としたデータが入力されています。

建設リサイクル関連様式の登録

**建設資材利用実施一覧**

建設リサイクル関連様式の登録

建設資材利用 建設副産物搬出

各種書類の印刷 提出用ファイル作成

工事・施設情報

コンクリート コンクリート及び砂 木材 **アスファルト・コンクリート** 土砂 砕石 掘削土・管・継手 石膏ボード その他

**アスファルト・コンクリート**  
実施

(1件中1~1件目を表示)

建設資材(新材を含む全体の利用状況)		左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 B/(A)*100 (%)	変更	コピー	削除	
小分類	利用用途	利用量(A) (トン)	再生資材の供給元施設、工事等の名称 供給元の住所 (市区町村名)	供給元種類	施工条件内容 再生資材名称					再生資材 利用量(B) (トン)
開粒度アスファルトコンクリート		12.000	東京都品川区	現場内利用	再生開粒度アスファルトコンクリート	12.000	100.0	入力	コピー	削除
合計		12.000				12.000	100.0			

建設資材を 追加 します

供給元が「現場内利用」になっている場合、建設副産物搬出にも入力が必要です。

建設副産物搬出の **コンクリート塊**、**アス・コン塊** もしくは  
**第一種建設発生土** **第二種建設発生土** **第三種建設発生土** **第四種建設発生土** **浚渫土以外の泥土** **浚渫土**  
 のうちいずれか、該当するものをクリックします。

※建設資材利用で確認した資材の  
 該当する項目を選択します

現場内利用の入力がありません。  
 右側の **入力** ボタンを  
 クリックします。

入力画面が開いたら**用途**と**(B)利用量**に情報を入力し、**更新**をクリックします。

(A)発生量(トン) (A)=(B)+(C)+(D)	現場内利用		減量化		(D)現場外 搬出量合計 (トン)	(E)再生資源 利用促進量 (トン)	再生資源利用 促進率 (B)+(C)+(E)/(A)*100
10	用途	(B)利用量(トン) (半角数字)	改良分(トン) (半角数字)	減量法 (C)減量化量(トン)	3.自由 5.中間合外	0.000	100.0
	その他	10	0.000	-	0.000	0.000	100.0

最後にもう一度チェックリストを確認し、  
 不整合が表示されないことを確認してください

チェックリストの発生個所が【砕石・アス混】の場合は、建設副産物搬出の「コンクリート塊」か「アスファルト・コンクリート塊」へ、【土砂】の場合は「第一種建設発生土」～「第四種建設発生土」、「浚渫土以外の泥土」、「浚渫土」の中から該当する項目へ入力する必要があります。

## 発生個所が「様式2」の場合

建設副産物搬出に現場内利用の入力があり、  
建設資材利用には現場内利用の入力がない状態です。  
**建設資材利用に情報の入力が必要です。**

チェックリスト		作成日：2022/05/19	
副産物センター メンテナンス1			
【検索条件】 調査区分：実施 工事場所：指定なし 発注機関：指定なし			
工事ID：11578266 調査区分：実施 工事名称：〇〇町〇〇号舗装修繕工事			1/1
発注担当者：建設太郎		工事種類：T 修繕・模様替え（建築）	
請負金額：830万円		工期：2020年6月16日～2024年12月15日	
発生箇所 様式2・【アスファルト・コンクリート塊】 現場内利用量 様式2・【建設発生土】 現場内利用量	入力値	内容確認（※は必須エラー）	コメント
	30.000	19. 不整合	対応する現場内利用が無いが、供給元が「現場内」となっていません。
	10.000	19. 不整合	対応する現場内利用が無いが、供給元が「現場内」となっていません。

### 1 現場内利用を行っていない場合の解消方法

建設副産物搬出の **コンクリート塊**、**アス・コン塊** もしくは

**第一種建設発生土** **第二種建設発生土** **第三種建設発生土** **第四種建設発生土** **浚渫土以外の泥土** **浚渫土**

のうちいずれかを確認すると**現場内利用の用途**と**(B) 利用量**が入力されています。

右側の

**入力** ボタンをクリックします。

用途は空欄に、利用量と改良分には**0**を入力し、更新をクリックします。

アスファルト・コンクリート塊							
実施							
(A)発生量(トン) (A)=(B)+(C)+(D)	現場内利用		減量化		(D)現場外搬出量合計(トン)	(E)再生資源利用促進量(トン)	再生資源利用促進率 (B)+(C)+(E)/(A)*100
	用途	(B)利用量(トン) (半角数字)	改良分(トン) (半角数字)	減量化 (C)減量化量(トン)			
0	▼	0	0.000	-	0.000	0.000	

更新 [戻る](#)

もう一度チェックリストを確認し、不整合が表示されないことを確認してください

## 2 現場内利用を行った場合の解消方法

建設副産物搬出の **コンクリート塊**、**アス・コン塊** もしくは

**第一種建設発生土** **第二種建設発生土** **第三種建設発生土** **第四種建設発生土** **浚渫土以外の泥土** **浚渫土**

のいずれかを確認すると  
現場内利用の欄に  
データが入力されています。

次に建設資材利用の、**アスファルト・コンクリート**、**砕石**、**土砂** のうち  
いずれか該当する項目をクリックし **追加** をクリックします。

基本的な情報を入力、**供給元種類**を「現場内利用」とし、**更新** をクリックします。

もう一度チェックリストを確認し、不整合が表示されないことを確認してください

チェックリストの発生個所が【アス・コン塊】、【コンクリート塊】の場合は、建設資材利用の「アスファルト・コンクリート」か「砕石」へ、【建設発生土】の場合は「土砂」へ、入力する必要があります。